今金町の台所事情

発行：役場 総務財政課 財政管財グループ

令和元年度一般会計決算額の状況

歳出 61億1，947万円

人件費　8億　835万円
職員の給与や議員、委員の報酬など

扶助費　4億 8，394万円
認定こども園運営費、各種医療給付費、児童手当など

公債費　5億 5，731万円
町の借金の返済金

建設事業費　11億 1，066万円
道路整備や施設建設など

物件費　7億 5，497万円
賃金、旅費、光熱水費、委託料、備品購入など

補助費　7億 3，047万円
各種補助金や消防署、衛生センター等に対する補助など

繰出金　8億 7，167万円
病院、老健、下水道、介護保険など特別会計への支出

その他　8億　210万円
維持補修費や積立金（貯金）、災害に対する復旧費用など

義務的経費

その他の経費

自主財源

依存財源

歳入 61億4，104万円

町税　5億 2，446万円
住民税、固定資産税、入湯税など

使用料・手数料　1億　906万円
公営住宅、公共施設の使用料など

分担金・負担金　7，172万円
事業にかかる受益者負担金など

繰入金　7億 3，647万円
基金（貯金）の取り崩し

諸収入　2億 4，636万円
給食費や財産収入、寄付金など

地方交付税　27億 2，488万円
標準的な町の財政規模を定め、不足するお金が国から交付されます

譲与税・交付金　2億 2，544万円
国に納めた税金の一部が一定のルールで交付されます

国・道支出金　8億 8，741万円
道路や施設の建設に伴う補助金など

町債　6億 1，524万円
建設工事など金額の大きな事業を行うときの町の借金

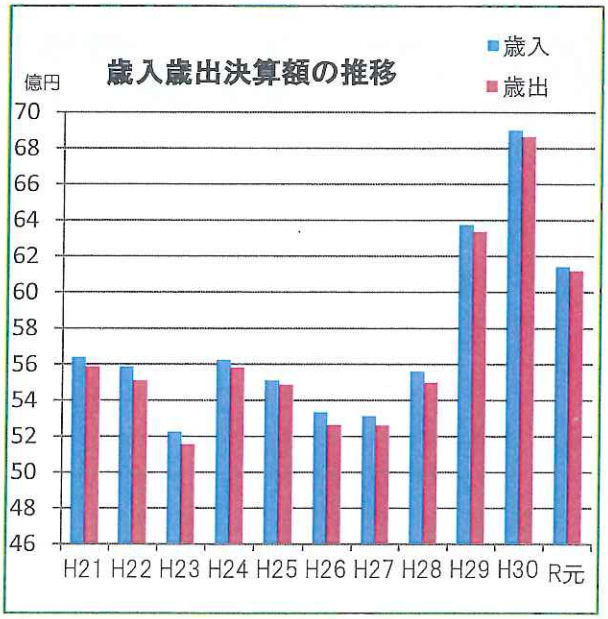
２，１５７万円の黒字決算となりました。

2,157万円のうち1,100万円を基金(貯金)に積み立て、1,057万円を翌年度へ繰り越しました。歳入総額61億4,104万円(前年度比7億5,782万円、11.0%減)、歳出総額61億1,947万円(前年度比7億4,466万円、10.8%減)となっています。

主な特徴としては、総合体育館建設事業費、ピリカスキー場設備更新事業費が前年度より大きく減額となっており、令和元年度は旧総合体育館解体事業、今金中学校改築事業の一部、避難所非常用電源整備事業等を行っております。

入湯税の使途について

入湯税については、クアプラザピリカ等の施設管理経費に使用しております。



町の決算を町民１人あたりに例えると・・・

町民１人あたりの決算額

１２０万２千円

※今金町の人口：５，０８９人
（令和２年３月３１日現在）

● 分野別の町民1人あたりの町民サービス費用は？

福祉の充実に

24万円

健康づくり・環境保全に

14万3千円

産業の振興に

14万6千円

道路・住宅整備に

14万1千円

教育・文化の振興に

13万2千円

借金の返済に

10万9千円

消防・救急に

5万5千円

役場・議会の運営、住民活動に

23万6千円

● 月収30万円の家庭での1カ月の支出に置き換えてみると・・・

食費、医療費、保育料など

人件費、扶助費など

6万3千円

衣類や生活雑貨、光熱水費など

物件費

3万7千円

車や家、家電などの修理費

維持補修費、災害復旧費など

1万1千円

交際費、習い事、保険料など

補助費等

3万6千円

家の増改築やリフォーム費用など

建設事業費

5万4千円

ローンの返済

公債費

2万7千円

子どもの学費や仕送り

繰出金、貸付金

4万3千円

貯金

積立金

2万9千円

★各種基金（貯金）について　・・・・・　【一般会計分】

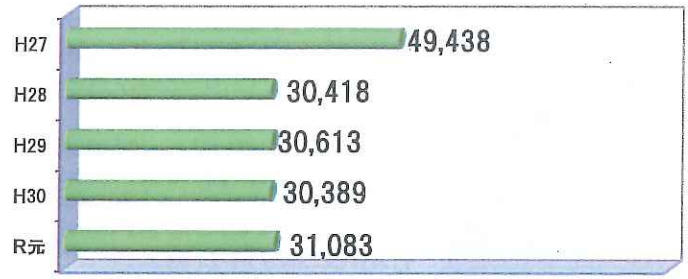
町もいざというときのために、『貯金（基金積立）』をしていますが、税収が急に落ち込んだり、災害が発生したりした時に備えるものや、将来の大きな事業をするためのもの、利子を財源に事業を支えるものなど、いろいろな目的をもって貯金をしています。

町では、地方交付税などの収入が伸び悩むなか、計画的で健全な財政運営を進めるために、できるかぎり『貯金』をしています。

● 各種基金(貯金)の推移は？

① 財政調整基金

（単位：万円）



財政調整基金とは・・・

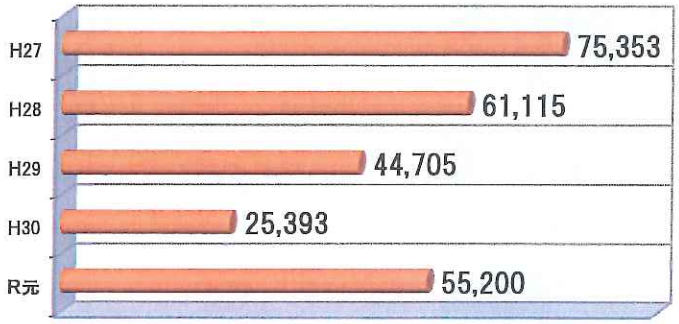
災害発生等による不時の支出増加や経済不況による予期しない収入減などに対応する財源に充てるための貯金です。

令和元年度末現在高は、
3億1,083万円となっています。

前年度比694万円増加しました。

② 減債基金

（単位：万円）



減債基金とは・・・

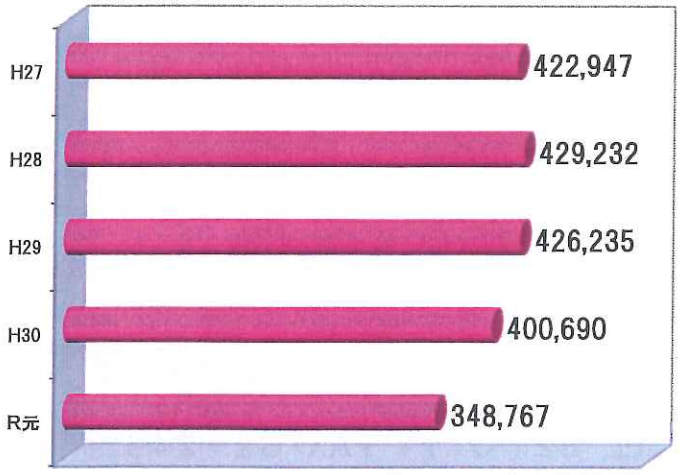
町には地方債という借金があり、これを計画的に返済に充てるための貯金です。

令和元年度末現在高は、
5億5,200万円となっています。

前年度比2億9,807万円増加しました。

③ その他基金など

（単位：万円）



その他基金とは・・・

公共施設整備や地域活性化など、特定の目的のため積み立てている貯金です。

- ふるさと創生基金
- 生活交通路線確保対策基金
- 公共施設整備基金
- 地域福祉基金
- 文庫基金
- 国営緊急農地再編整備事業負担金支払基金
- まち･ひと･しごと総合戦略基金
- 北海道備荒資金組合積立金　　など

令和元年度末現在高は、
34億8,767万円となっています。

前年度比5億1,923万円減少しました。

★地方債（借金）について　・・・　【一般会計分】

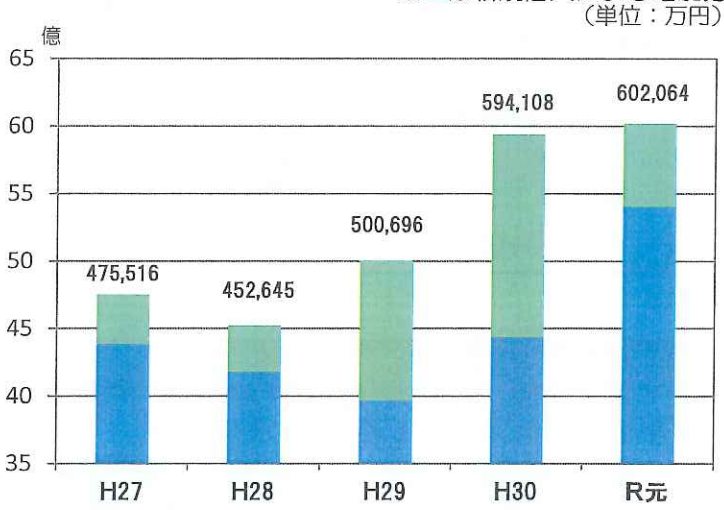
道路整備や公共施設の建設といった大きな事業を行うときは、町も一般家庭と同じようにローン（借金）を組みます。これを地方債といい、国や銀行などから資金の融資を受けます。

借金はしない事に越したことはありませんが、税金を一つの事業に充ててしまうと、その他の行政サービスに使う税金が減り、サービスの低下を招きます。また、公共施設等は将来にわたり町民が利用することから、ローン返済に将来世代の町民の税金を充て、世代間負担の均衡を図ります。

● 町の借金はどのくらいあるの？

借金の残高の推移

※■は新規借入による増加分
（単位：万円）



町ではなるべく将来の負担を少なくするために、返済金の一部が地方交付税で補てんされる有利な地方債を活用しています。

令和元年度末の地方債残高60億2,064万円のうち国の負担分は48億4,864万円、今金町が実質負担する額は１１億7,200万円が見込まれます。

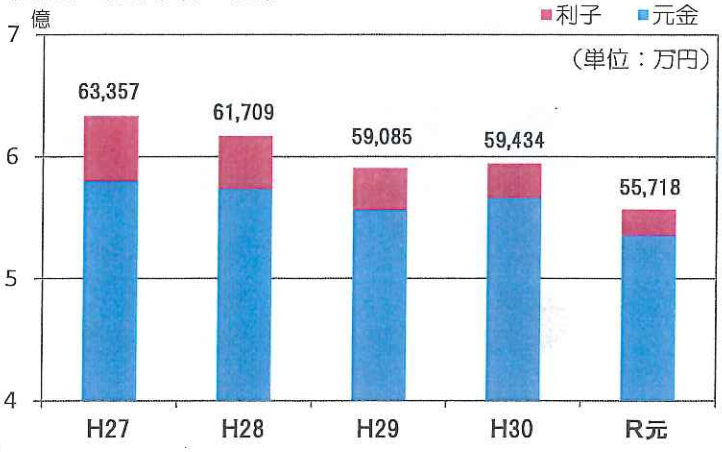
昨年度と比べ地方債の残高が増加した要因は、借り入れた額が返済した額を上回ったことによるものです。なお、令和元年度の主な借入は、

今金中学校改築事業	１億１，０５０万円
高美公園整備事業	９，９７０万円
臨時財政対策債	９，３０４万円
避難所非常用電源整備事業	５，６２０万円
総合体育館建設事業債	３，９４０万円
豊田橋長寿命化修繕交付金事業	３，２７０万円
高齢者共同生活施設運営事業	３，０１０万円
道路付属物長寿命化修繕事業	２，２１０万円
森林管理道住吉支線開設事業	２，１９０万円

などとなっています。

● 毎年どのくらい返済しているの？

借金の返済額の推移



令和元年度の返済金は、
元金　5億3,568万円
利子　　2,150万円
合計　5億5,718万円となっています。

お問い合わせ：役場　総務財政課　財政管財グループ
TEL　82－0111　FAX　82－2492